

投資事業評価調書（新規）

部課室名	農林水産部 農林水産局 農地整備課	記入責任者職氏名 (担当者氏名)	課長 松浦 猛 (<small>農地整備課 課長 松浦 猛</small> 農地整備課 坊垣 昌明)	内線	4003 (4016)
------	-------------------------	---------------------	--	----	----------------

事業種目	ほ場整備	事業名	事業区域	総事業費	約2億円
		基盤整備促進事業 (農地等高度利用促進 事業・担い手育成型)	塩屋・矢柄地区	内用地補償費	約0.03億円

所在地		事業採択 予定年度	着工予定 年 度	予定年度 年 度
三原郡南淡町阿万塩屋町		H17	H17	H19

事業の目的	事業内容
<p>農業のコスト低減、経営の安定強化を図るため、農地の区画及び道水路整備を行い、機械化営農体系を確立して農業生産性の向上を図るとともに、意欲と能力のある経営体の育成を目指す。</p> <p style="text-align: right;">事業主体：南淡町</p>	<p>区画整理 6.5ha</p> <p>工事費の負担割合 (国50% 県21% 町24% 地元5%)</p>

評価視点	評価結果の説明
(1) 必要性	<p>当地区は、水稻、野菜（レタス・玉葱・キャベツ）、飼料作物の三毛作地帯で大変農業の盛んな地域である。しかし、現況農地は小区画・不整形で、農道幅員も狭小であるため、営農効率の低さが農家の大きな負担となっている。また、畑作に必要な地下水位が確保されていないため、野菜の品質及び収穫量に悪影響を及ぼしている。</p> <p>本事業のほ場整備により、営農の機械化と合理化を促進し、営農コストの縮減及び担い手の育成を図る。また、客土により地下水位を確保し、野菜の生産性と品質の向上を図り、農業経営と食料供給の安定を確保する。</p>
(2) 有効性・効率性	<p>投資効率 1.13 所得償還率 6.2%</p> <p>投資効率が1.0以上あり、事業としての効果が期待できる。</p> <p>同意率 100% (37戸/37戸)</p>
(3) 環境適合性	<p>排水路の一部路線の水路底を素堀にして、生態系に配慮する。</p> <p>排水路溝畔に植樹（ウバメガシ）を行い、景観に配慮する。</p> <p>道路路盤材、構造物基礎材等に、再生材料を積極的に使用する。</p>
(4) 優先性	<p>本地域は、全国有数の三毛作地帯で、国が産地指定するレタス・玉葱・キャベツを生産し、食料の安定供給に大きく貢献している地域である。</p> <p>南淡町のほ場整備率は、県内74%に対して29%と極めて低く、生産基盤の整備促進が急務となっている。</p>